イチオシ ユニテックシステム

vol.33

クライアントの使い勝手を高めた日々紹介&労務管理代行システム

▶改正労働者派遣法の施行により、日々紹介事業を扱う事業者も増えつつある昨今。プレーヤーを双方向でつなぐ「日々紹介&労務管理代行システム」がクラウド型サービスとして登場した。

労働者派遣法の改正議論が高まった約3年半前、ユニテックシステムでは法改正後への対処、システム面でのサポートなどについてユーザー企業とともに検討を開始。日々紹介および労務管理代行が大きなテーマとなることを見越し、これらをテーマとした商品開発に取り組むことを決定した。

製品の第1号は2009年にリリースした「AgentNavi（エージェントナビ）」。主に人材会社を対象とした日々紹介と給与計算代行システム。AgentNaviの姉妹製品ともいえるのが今年7月に登場した「CROSSNAVI（クロスナビ）」だ。

同製品は9月に入り引き合いが急増し、すでに約50社が導入。「日々紹介事業を行い、クライアントの労務管理を代行しようとすると、人材会社は日雇い派遣以上に煩雑な事務処理を着実にこなさなければなりません」と話すのは、ユニテックシステム・取締役営業本部長の浜田親弘氏。そのため、システムの導入が必須となるのだ。好調の原因はそこにある。

手間・時間・工数を削減し、セキュリティ面も安心

CROSSNAVIの特徴は、日々紹介とそれに付随する労務管理代行業務について、①人材会社・クライアント・求職者の3者が双方向で情報のやり取りが可能、②同じクラウドシステムの中でクライアントが複数の人材会社と発注・受注のやり取りが可能、というオープン型のサービスであること。

利用スタイルは、①双方向利用&クライアント自主管理型［人材会社・クライアントがシステム利用、人材会社の代行業務なし］、②双方向利用&エージェント代行管理型［人材会社・クライアントがシステム利用、人材会社の代行業務あり］、③エージェント単独管理型［人材会社のみシステムを利用］、の3通りで、取引クライアントごとに使い分けできる。③から入り、人材会社がシステムに慣れた上で、①や②に移行するケースが多いという。

【人材会社のHOME画面】　人材会社は、「information」でクライアントからの発注情報をリアルタイムに確認したり、「トレイ（左サイドのメニュー一覧）」で業務処理状況を一目で確認することができる

主な標準機能項目は、「受注管理」「アサイン（引き当て）」「給与管理代行」（人材会社）、「案件管理」「勤怠管理」「給与管理」（クライアント）「スケジュール予約」「勤怠情報入力」「給与情報閲覧」（スタッフ）などで、一連の業務に必要な機能は標準装備している。

労務管理代行サービスは、①雇用管理代行（雇用契約書の作成）、②勤怠管理代行（出退勤の回収～集計）、給与計算代行（給与計算～給与の振込フォーマットの作成）、の3つからなる。クライアントが自社の口座から使用者に給与を振り込む、まさにその一歩手前までの事務処理を代行するサービスだ。

双方向でのやり取りが実現すると、何が変わるのか。例えば、クライアントから人材会社への発注業務。従来は、メールや電話、ファックスといった〝オフライン〟でやり取りしたあとに、お互いが自社のシステムで処理をするという流れが一般的だった。これがシームレスに、スムーズに行えるようになる。

また、スタッフの労務管理。勤怠データや給与明細書、源泉徴収票など、メールのファイル添付などでやり取りしていた煩雑で時間のかかる作業が、クラウド上で行えるようになる。

セキュリティ面への不安から、クラウド上に個人情報を流通させることに抵抗を感じる向きもあるが、システムの運営はセキュリティを確保した日本有数のデータセンターが行う。地震などの災害対策にも備えるなどデータの保全性も高い。個人情報をメールでやり取りするよりも安全といえそうだ。

初期投資は小さく、利用期間の〝しばり〟なし

人材会社が負担するコストの面でも優位性がある。パッケージ型のシステムを導入する場合、数百万円単位の初期投資が必要になるのが一般的。しかし、CROSSNAVIの導入に伴う初期投資は設定費用（15万円）と研修費用（5万円）のみという手軽さだ。

また、料金体系は使用した分だけ月単位で請求される仕組み（基本料金［1ID当たり］：月5000円、利用従量課金［アサイン日数］：1日当たり単価50円）。しかも、利用料の発生は人材会社の売り上げが立ったあとになる。改正労働者派遣法の施行直後という先の読めない時期には、このハードルの低さはありがたい。クライアント側も研修費用（5万円）と月額費用（基本料金：1ID当たり月5000円）のみで利用できる。

「3カ月」や「6カ月」といった利用期間のしばりはない。サービスの利用中止を申し出れば、翌月の末日をもってやめることができる。

クライアントのニーズに応えるために、人材会社も派遣以外の多様なサービスメニューを取りそろえることが求められる時代。CROSSNAVIはクライアントに対する人材会社の営業ツールとしても活用できるかもしれない。

同製品は当面カスタマイズに対応する予定はないが、将来的には市場のニーズに応じて柔軟に対応していくとしている。

代表取締役社長
渡辺正憲

ユニテックシステム株式会社
所在地：〒110-0005　東京都台東区上野1-10-10うさぎやビル6階
事業内容：人材系基幹業務パッケージ開発・販売・サポート事業、勤怠・給与系ASP事業、Webシステム受託開発事業。
http://www.uts-navi.com/crossnavi/